

# 松山市で「医療機関における電波の安全性・利用環境整備に関する勉強会」を開催

## 〈東京大学医学部附属病院講師及び医療機器メーカー2社から講演〉

四国総合通信局(局長:村松 茂)は、愛媛県内の医療機関における電波利用推進協議会(会長:石原 謙(愛媛大学大学院・医学系研究科医療情報学 名誉教授))とともに、令和元年6月18日(火)に愛媛県医師会館(松山市三番町)において「医療機関における電波の安全性・利用環境整備に関する勉強会」を開催し、医療機関や医療関連企業をはじめ、自治体、通信事業者、建築・施工業者など51名が参加しました。

本勉強会は、病院等で安心・安全に電波を利用していただくことを目的として、講演に加えてメーカー2社によるセントラルモニタ機器などの展示により最新の医療関連機器の紹介を行ったものです。

### 【第1部】

**演題:「医療機関において安心・安全に電波を利用するために」**

**講師:東京大学医学部附属病院 企画情報運営部 新 秀直 氏**

医療現場において、安心・安全に電波を利用するためには電波利用の現状やリスクと対策の把握、管理体制の構築が必要であることを平成28年4月に公表された「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引」を中心に説明があり、続いて、医用テレメータ・無線LANの電波干渉や周波数管理の対応、具体的なトラブル事例から見た対策について説明がありました。さらに、携帯電話を病院内で安心・安全に活用するため、医療機器との離隔距離やエリアごとの使用ルールの設定が必要との説明がありました。

まとめとして、電波は、目に見えないが使えてしまうことから高度な知識が必要であり、臨床工学技士が適任である電波利用コーディネーターのような人員が病院に配置されることが望ましいが、臨床工学技士がいない場合でも医療安全の観点から電波監理が重要であるとの認識を示しました。



### 【第2部】 共通演題:「医用テレメータによるトラブル状況の実演と解決方法」

**テーマ1:病院内テレメータ送受信機の電波干渉と正しい理解**

**講師:日本光電工業株式会社 カスタマーサービス本部 AS四国 松山サービスセンター 所長 木島 隆将 氏**

病棟における医用テレメータのネットワーク構成を紹介。続いて、電波の受信状態について、信号の強度とノイズレベルで変わること分かりやすく説明。隣接チャネルの電波干渉について、電波の波形をスペアナ測定器の画面で表示する実演がありました。

さらに、医療現場で役立つチャネル管理ツールやICT技術を活用した無線LANテレメータの紹介がありました。



**テーマ2:医用テレメータシステム管理の実際とトラブル事例等**

**講師:フクダ電子株式会社 営業本部 F・プロダクトGrp. モニター営業部 長谷川 悦郎 氏**

医用テレメータのアンテナシステムの構成と特徴を紹介。続いて、医用テレメータの受信障害原因として、LEDランプからのノイズの影響や、トラブルの原因となる監視カメラ等からのノイズ発生などを紹介。

さらに、混信の仕組みや混信障害を防ぐためのゾーン配置の効果などの説明があり、医用テレメータのチャンネルを管理するアプリの紹介もありました。



機器展示の様子

参加者からは、限られた電波を有効に活用できる技術を含めたシステムへの期待や、勉強会全体を通じて分かり易く良く理解出来たという声が寄せられました。

四国総合通信局では、引き続き医療機関における電波の安心・安全な利用に関して周知・啓発活動を行ってまいります。

【主催】四国総合通信局、愛媛県内の医療機関における電波利用推進協議会

【後援】愛媛大学、一般社団法人愛媛県医師会、公益社団法人愛媛県看護協会、

一般社団法人愛媛県臨床工学技士会

【お問合せ先】電波監理部 電波利用環境課 (TEL) 089-936-5055



講演の様子